

第2回 第14採択地区 教科用図書採択協議会議事録

平成29年7月14日（金）

第14採択地区教科用図書採択協議会事務局

第2回 第14採択地区教科用図書採択協議会 議事録

開 会：平成29年7月14日（金）午後1時30分

閉 会：平成29年7月14日（金）午後1時57分

会議場：秩父市歴史文化伝承館 5階 第一会議室

出席委員

秩父市教育委員会教育長	新谷 喜之（会長）
秩父市教育委員会委員	久保 禮子
秩父市教育委員会委員	浅見 知子
横瀬町教育委員会教育長	久保忠太郎
横瀬町教育委員会委員	浦島 則之
小鹿野町教育委員会教育長	中 紀雄
小鹿野町教育委員会委員長	齊藤 榮一
小鹿野町教育委員会委員	小池 恭一
皆野町教育委員会教育長	豊田 尚正
皆野町教育委員会委員	小笹 昭二
皆野町教育委員会委員	野口 桂子
長瀬町教育委員会教育長	野口 清
長瀬町教育委員会委員	浅見マユミ
長瀬町教育委員会委員	西山 忠文

出席事務局職員

秩父市教育委員会事務局次長兼学校指導監	山中 正広（司会）
秩父市教育委員会指導主事	橋本 泰伸
秩父市教育委員会指導主事	福島 剛
横瀬町教育委員会指導主事	岡村 淳史
小鹿野町教育委員会指導主事	山口 貴久
皆野町教育委員会指導主事	富田 勲

1 開 会

秩父市教育委員会事務局次長兼学校指導監

第2回第14採択地区教科用図書採択協議会を開会する。

2 会長あいさつ

第14採択地区教科用図書採択協議会会長

開会にあたり、一言挨拶申し上げる。教科書採択については、これまでもマスコミ等でも取り上げられ、様々な注目を浴びているところであるが、静謐な環境の中で、厳正・共成の確保が求められているところである。特に今回は、

従前の小学校道徳が「特別の教科 道徳」となり、初めての教科書採択なので、社会の関心も集まることが予想される。今まで以上に、調査員会において慎重かつ適切に調査を進めてきたところである。本日の会においては、その調査員会において約2か月にわたり調査研究を行っていただいた「特別の教科 道徳」の調査員研究の報告をお願いしている。その上で協議をして、この協議会として、教科用図書を選定したいと考えている。各位の皆様には、教科用図書無償措置に関する法令規程を踏まえると共に、本協議会における規程に沿って、協議していただくようお願い申し上げます。

※議事の前に、司会より新たに委員になった2名を紹介する。

3 議 事 ※議長は、規約第10条の2に基づき会長が務める

議 長：議事に入る前に、この協議会が公開ということで、前回（第1回）決定したため、今回は、傍聴人規程に基づき公開という形をとらせていただく。

(1) 教科用図書研究等の経過及び結果報告について

議 長：「教科用図書研究等の経過及び結果報告」について、説明をお願いします。

事務局：〈ア 来場者の状況について〉

平成30年度使用教科書展示会を6月16日（金）～6月29日（木）までの14日間、秩父市役所荒川総合支所で実施した。14日間で284名が来場した。道徳の教科化への関心が高く、小学校教職員の来場が最も多かった。

〈イ 保護者等の意見について〉

教科書展示会の来場者の意見については、別冊「平成29年度教科書展示会アンケート記述一覧」のとおり128名の方に記述いただいた。道徳の教科書に関する意見が多く寄せられた。

〈ウ 校内研究結果のとりまとめ表について〉

平成30年度使用小学校教科用図書（道徳科）の各学校における校内研究をとりまとめ、各市町ごとに集計した。複数回答のため、全学校数よりも多く、意見があげられた。

〈エ 調査員会の開催日等（道徳のみ）〉

平成29年5月26日（金）より、平成29年6月20日（火）まで合計4回開催した。

議 長：「教科用図書研究等の経過及び結果報告」の説明について、質問や意見はあるか。（しばらく間）よろしいか。

（「はい」という声あり）

それでは、確定とする。

(2) 教科調査員研究報告について

議 長：小学校道徳科 調査員代表者の入室を求める。

調査員代表：（自己紹介の後、各発行者毎の説明）

<調査員代表による説明>

【東 書】

- 各教材に学習のテーマを明示し、教材に配したキャラクターによる問いと巻末の「学習の振り返り」で、ねらいを確実に達成できるようになっている。「いじめ問題」を重点的に扱い、「いじめのない世界へ」というとびらページを設け、『直接的教材』と『間接的教材』との組み合わせで考えるようになっている。学校行事に関連した教材が多く、共感しながら考えることができる。

【学 図】

- 「読み物」と「活動」の2冊で一つの教科書である。「読みもの」にある教材は、巻頭に主題と学習のねらいが明示してあり、人物の行動や気持ちを考えることができる。「活動」では、問いが用意されていて、その問いに答えることで、自らを振り返ることもできる。また問題解決的な学習、体験的な学習なども多く取り入れられ、自ら考えを深められる工夫がある。

【教 出】

- 各教材の最初に、問いを配し、学習のめあてを明確にしている。終わりには「学びの手引き」や「ジャンプ」を配し、問いを通して、道徳的価値の理解を深めている。モラルスキルトレーニングのページがあり、道徳的価値を体感し、実感を持って理解できる。発達段階を考慮した偉人やスポーツ選手など、人に学ぶ教材が多く、生きざまを学ぶようになっている。

【光 村】

- 各教材に「考えよう」の欄があり、めあての確認と問いが示され、この欄を活用することで、無理なく授業が展開できる。教材を、四つの「学習のまとまり」に分け、まとまりごとに視点の重点化を図っている。全学年で「命」を重視し、巻頭に命に関連した詩を配し、「いじめ問題」とも関連づけている。またいじめ問題では、いじめの教材とコラムを組み合わせたユニットになっている。B5判の大きさである。

【日 文】

- 「読み物」と「道徳ノート」の2冊構成になっている。道徳ノートは、「読み物」と関連を図り、1教材1ページになっていて、読み物で示された問いや振り返りと同じ文言が記載されていると共に、友達の見解、保護者の言葉なども書き込むことができる。授業の流れに沿ったノートである。学校行事に関連した教材を取り上げ、共感しながら考えを深めていくことができる。

【光 文】

- 教材が40用意されているので、学級の実態に応じて教材を選択できる。巻末に「学びのあと」があり、毎時間、ひと言感想が書けるので、児童が成長を実感できるようになっている。各教材の最初に内容に関する問い、教材の下段に補助的な問い、教材の最後にまとめと広げるの問いが記載され、授業の流れに沿っている。A4変形判で、他よりも少し大きいので、写真や挿絵が引き立つ。

【学 研】

- 最も大きいA4判の紙面なので、字が大きく、見やすい。場面絵も裁ち落としが多いため、迫力がある。各教材の前に主題や問いがないので、先入観を持たせることが無く、児童が主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことがで

きる。学び方のページ「深めよう」「広げよう」などが記載され、様々な学習活動を通して、考えを深められるような工夫がされている。

【あかつき】

- 「読み物」と「道徳ノート」の2冊で1冊扱いである。読み物にある各教材最後の「学習の道すじ」で、学習のめあてや道徳的価値に迫る問いが段階的に設定され、授業の流れに沿っている。別冊のノートは、記述欄がたくさんあり、書くことによって自己を見つめ、考えることができる。先人の伝記や著名人、スポーツ選手などの教材が多く、生きざまを学べるようになっている。

議長：第14採択地区として最適な教科書の発行者名を1者挙げ、その理由をお願いします。

調査員代表：調査員会としては「学研」を推薦する。理由は以下の3つである。

- ①各教材の前に主題や問いがないので、児童に特定の価値観を押しつけることなく、児童の問題意識をもとに、学ぶことができること。
- ②A4判の紙面で、文字が大きく、見やすいこと。また場面絵も裁ち落としが多いため、迫力があること。
- ③先人の伝記やスポーツ選手などの教材が多く、人の生きざまを学べるようになっていること。

以上3点ことから「学研」を推薦する。

イ 質疑・協議等

議長：小学校道徳科について質問、意見はあるか。

久保れ委員：平成28年11月18日に文部科学省大臣から「いじめに正面から向き合う『考え議論する道徳』への転換に向けて」というメッセージが発表された。「いじめの問題に対応できる資質・能力を育むためには、自分自身のこととして、多面的・多角的に考え議論して、いじめに正面から向き合う『考え議論する道徳』へと転換することが求められている。」と出ている。この観点で、採択された図書にはどのようなことが入っているか。また調査研究する中でどのように話し合われたか。

調査員代表：(推薦した)学研については「命の教育」を全学年、重点として取り扱っている。「命の教育」は直接的にはいじめとは結びつかないが、命を大切にすることを通して、いじめに関係してくる。それを全学年で重点に扱っていることは非常に特徴的と思われる。それと同時に、いじめ問題についても「深めよう」「やってみよう」という特設ページを設けていて、発展的な考え方を提案するという取組をしている。そのような点からもいじめ問題についての正面から向き合っている教科書である。また「議論する」という点についても、子供たちの「問い」から発するというので、「問い」を重要視しながら進められることを考えると、子供の発言を重要視しているということなので、(議論するということも)非常に考えられている教科書と考える。

議長：そのほか質問はあるか。(しばらく間)特になければ質疑を終了する。調査員代表者は、退室願う。

(3) 平成30年度使用小学校用教科用図書の採択について

議 長：これより協議に移る。協議に際しては、規約第十二条により、「委員全員の一致によって決する」とし、「協議が調わない種目がある場合には投票を行う」とあるので、そのような形で進める。

議 長：小学校道徳科について、調査委員代表者は、「学研」の「みんなの道徳」を推薦したが、これについて意見はあるか。(しばらく間)

議 長：ほかに意見もないようなので、挙手を願う。

議 長：小学校道徳科は、先ほど推薦のあった「学研」を選定するという事によろしい方は挙手を願う。(全員挙手)

議 長：全員一致ということで決定する。
改めて確認するが、小学校道徳については、「学研」を選定ということで決定した。

(4) その他

議 長：今後の教科用図書関係事務等について、事務局より願います。

事務局：<ア 今後の教科用図書関係事務について>

第14採択地区教科用図書採択協議会選定平成30年度使用小学校用教科用図書一覧表及び採択理由一覧表は、後日電子データにて送信する。

<イ 採択決議書等の提出について>

採択決議書については、秩父市教育委員会内 第14採択地区教科用図書採択協議会 会長 新谷喜之 宛にて平成29年8月3日(月)までに提出を願う。また、県への報告は8月25日(金)提出〆切となる。

<ウ 教科書需要数について>

県への報告が8月24日(木)提出〆切となっているので、各委員会で対応をお願いする。

<エ 採択協議会の会計報告について>

事務局より後日、各教育委員会に送付する。

議 長：その他、委員から何かあれば願います。
特になければ、以上で議事を終了する。

4 閉 会

秩父市教育委員会事務局次長兼学校指導監

第2回第14採択地区教科用図書採択協議会を閉会する。